

SHOW HEY シネマルーム

★★★★

郊外の鳥たち (郊区的鳥 / Suburban Birds)

2018年 / 中国映画

配給: リアリーライクフィルムズ、ムービー・アクト・プロジェクト / 114分

2023 (令和5) 年2月17日鑑賞

オンライン試写

Data

2023-24

監督・脚本: 仇晟 (チウ・シヨン)
出演: 李淳 (メイゾン・リー) / 龔子涵 (ゴン・ズーハン) / 黄璐 (ホアン・ルー) / 錢炫邑 (チエン・シュエンイー) / 許燦 (シュー・シュオ) / 陳智昊 (チェン・ジーハオ) / 陳義豪 (チェン・イーハオ) / 徐程輝 (シュー・チョンフイ) / 肖驥 (シアオ・シアオ) / 鄧競 (ドン・ジン) / 王新宇 (ワン・シンユー)

👁️👁️ みどころ

中国では“第8世代監督”の活躍が華々しいが、その感覚や感性は70歳代の日本の爺さんにはわかりづらいものもある。その最たるものが、仇晟 (チウ・シヨン) 監督の本作だ。

本作は珍しく原題、邦題、英題がまったく同じだが、その意味は？ “しあわせの青い鳥” は知っているが、“郊外の鳥” って一体ナニ？

“スタンド・バイ・ミー” meets カフカの“城”。それが本作に対する最大の褒め言葉だが、その意味は？ そこからしっかり本作を読み解き、チウ・シヨン監督の不思議な感覚 (問題意識) に少しでも近づきたい。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■次々と続く中国の第8世代監督に注目！■□■

今やZ世代が世界を席捲しているが、中国の映画界では第8世代監督が次々と登場し、新しい才能を発揮している。第8世代監督とは、1980年～90年代生まれの若き才能のことで、『凱里ブルース』(15年) (『シネマ46』190頁)、『ロングデイズ・ジャーニー この夜の涯てへ』(18年) (『シネマ46』194頁) の毕赣 (ビー・ガン) 監督、『象は静かに座っている』(18年) (『シネマ46』201頁) の胡波 (フーポー) 監督、『春江水暖～しゅんこうすいだん』(19年) (『シネマ48』199頁) の顧晓刚 (グー・シャオガン) 監督等がその代表だ。しかし、今般、中国人の友人から新たな第8世代監督、仇晟 (チウ・シヨン) の『郊外の鳥たち』を紹介されたため、オンライン試写で鑑賞。

本作は、2018年のロカルノ国際映画祭で上映されると、アメリカの名だたる業界紙が彼の才能を絶賛。ヴァラエティ紙は「魅力的で不可解なパズルゲーム」と、ハリウッドリポーター紙は「“スタンド・バイ・ミー” meets カフカの“城”」と賞賛したらしい。各国の映画祭で上映された後の2022年3月に中国本土でようやく公開されたそうだから、

興味津々。

■□■珍しく原題、邦題、英題が全く同じ！その意味は？■□■

本作の原題は『郊区的鳥』。邦題は『郊外の鳥たち』、英題は『Suburban Birds』だから全く同じだ。しかして、「郊外の鳥たち」とは一体ナニ？

本作の仇晟（チウ・シヨン）監督インタビューによると、それは次のとおりだ。

『郊外の鳥たち』というタイトルには何か特別な意味があるのでしょうか？

『郊外の鳥たち』とは、サイアリア・スブルビウム(Sialia Suburbium)という特殊な青い鳥のことを指します。都会でも田舎でもあまり見かけない鳥です。郊外の20～25mの高さの電波塔に巣を作ります。様々な昆虫を餌に、プラスチックさえも噛み砕くことができる強い嘴を持っています。その美しい外見とは違い鳴き声は低く、1回の産卵で5～6個の卵を産む。彼らは電磁波を聞きながら成長するそうです。

しかし、そんな「郊外の鳥」を知っている観客は私を含めて誰ひとりいないだろう。しかるに、チウ・シヨン監督は、なぜそんな鳥を本作のタイトルにしたの？しかも、原題のみならず、なぜ英題も邦題も同じタイトルに？

■□■郊外の鳥は不知！（しあわせの）青い鳥なら知ってる！■□■

「郊外の鳥」と言われてもさっぱりわからないが、「（しあわせの）青い鳥」と言われれば、私はまず第1に、桜田淳子が歌って1973年のレコード大賞新人賞をとった『わたしの青い鳥』を、第2に日産の名車「ブルーバード」を思い出す。そして、第3に、ベルギーの作家モーリス・メーテルリンクの戯曲『青い鳥』と童話『青い鳥』を連想するが、それと関係があるの？

そこで、ウィキペディアで「幸せの青い鳥」を調べると、第1に「モーリス・メーテルリンクの童話『青い鳥』の通称」とあり、第4に「幸せの青い鳥（幸福の象徴）—幸福の象徴としての青い鳥」が載っている。他方、日産ブルーバードの名前の由来は、メーテルリンク作の童話『青い鳥』にちなんで、当時の日産社長によって命名されたそうだが、「青い鳥が欧米では幸せの象徴であったことも影響しているかもしれません」とコメントされている。つまり、「青い鳥」には、“幸せの象徴”というイメージがあるわけだ。すると「郊外の鳥」は（しあわせの）青い鳥と同じ意味？

ちなみに、私は都市計画やまちづくりを弁護士としてのライフワークにしているが、裁判事件としてたくさん関与してきたのは、市街地再開発をめぐるもの。中国の開発や再開発をめぐる法的システムは、日本に比べればまだまだ不十分かつ未整備だが、中国語として有名な“鬼城”とはナニ？それは、中途半端なままで建設工事が中止されたマンションを意味することもあるが、大きな意味では、廃虚になってしまった村やコミュニティを意味するから、本作を鑑賞するについては、それをしっかり理解したい。

■□■物語は？主人公は？鬼城の姿は？■□■

本作は、2018年の中国映画だが、中国で公開されたのは2022年3月。それは一体なぜ？他方、2022年3月に解禁されたポスターとティザー予告編は、次のとおりだ。

中国第8世代の新たなる才能、チウ・シヨン監督作『郊外の鳥たち』 3月公開

各国の映画祭で注目を集めたチウ・シヨン監督作『郊外の鳥たち』より、ポスターとティザー予告編が解禁された。

各国の映画祭で注目を集めたチウ・シヨン監督作『郊外の鳥たち』より、ポスターとティザー予告編が解禁された。

地盤沈下が進み《鬼城》と化した中国地方都市の地質調査に訪れた青年ハオは、廃校となった小学校の机の中から、自分と同じ名前の男の子の日記を見つける。そこに記録されていたのは、開発進む都市の中で生き生きと日常を謳歌する子どもたちの姿だった。それは果たしてハオの過去の物語なのか、未来への預言なのか…。やがて子どもたちは、ひとり、またひとりと姿を消していく。



(シネマカフェ (cinemacafe.net) より)

なるほど、なるほど。こりゃ、わかったようなわからないような・・・。

■□■ハオの物語と子供たちの物語が交互に進行！■□■

本作は、測量器を持って測量作業に従事する青年ハオ（李淳（メイソン・リー））の姿が度々登場する。また、本作には、測量のため以外にも、バードウォッチングのようにレンズを通して対象を眺めるシークエンスが度々登場するので、それに注目！

他方、本作のストーリーとしては、地盤沈下が進む“鬼城”を訪れたハオたちが各地各所を測量する物語と、ハオが見つけた日記の中の子供たちが野山を歩き回る物語が交互に描かれる。測量のターゲットは地盤だけでなく、地下鉄のためのトンネル等にも及んでいくが、それは一体ナニを意味しているの？他方、子供たちの遊びは戦争ごっこ等の際は楽しそうだが、ある日、「太っちょ」というあだ名の男の子（陳義豪（チェン・イーハオ））がいなくなると、我然ミステリー色も・・・？

本作は、そんな2つの物語がセリフを極端に省く中で淡々と進んでいくので、ハッキリ

言って眠くなってしまふ。しかし、そこで思い出すが、ハリウッド・リポーター、レスリー・フェルベリンが「“スタンド・バイ・ミー” meets カフカの“城”」と賞賛していること。これって一体ナニ？これを理解できるのは、よほど教養の高い人に限られるのでは？

■□■ “スタンド・バイ・ミー” VS カフカの“城” ■□■

『スタンド・バイ・ミー』（86年）はスティーヴン・キングの原作に基づく1986年公開の映画で、「青春映画の傑作、金字塔」などと高く評価されている。その内容は、1950年代末のオレゴン州の小さな町キャッスルロックに住む4人の少年たちが、好奇心から線路づたいに死体探しの旅に出るという、ひと夏の冒険を描いたものだ。他方、1997年のテレビ映画『カフカの「城」』は、フランツ・カフカの未完の長編小説『城』を映画化したもの。そこでは、とある寒村の城に雇われた測量技師Kが、いつまで経っても城の中に入ることができずに翻弄される様子が描かれている。

パンフレットにあるチウ・シヨン監督のインタビューによると、「映画の中で描かれている子供たちが行方不明の友人を探す旅に出るというストーリー」は、監督の小学生の頃の体験に基づく発想で、必ずしも『スタンド・バイ・ミー』からの発想ではない。しかし、もう一つのインスピレーションは、カフカの小説『城』から得たものだ。すなわち、彼は、インタビューの中で、「主人公のKは、城の地図を作る仕事を任せられます。Kは城の中に入って仕事を始めようとするのですが、一向にうまくいきません。私は、“もしKの仕事が潤滑に進めることができたなら？”という問いに答えることで、この小説を読み進めようと思いました。そこで、定規を持ってある測定点に立つことだけを仕事とする放浪のエンジニアというキャラクターを着想したのです。」と語っている。へえ、なるほど、なるほど。しかし、これもやっぱり、わかったような、わからないような・・・。

■□■ 不思議な感覚！第8世代監督の問題意識に注目！ ■□■

日本でも測量士や測量機器は一般的だし、彼らの測量風景も日常的に目にするもの。しかし、少年から大人になり、今は測量技師として働いている本作の主人公ハオは、本作で一体ナニを測量しているの？それは地盤沈下が進み、“鬼城”と化した中国地方都市だ。しかして、チウ・シヨン監督は、地盤沈下という事件をなぜ物語全体の背景に据えたの？

そんな質問に対して、チウ・シヨン監督は、次のとおり答えている。すなわち、「私たちの街は、何層にも重なってできています。過去の街並みや建物が、現代の都市の骨格を形成しているのです。ですから、地下は堆積した記憶の世界のようなものです。記憶が薄れると、地下から水が漏れて空洞ができる。だから地盤が沈下する。集団健忘症の兆候です。」。なるほど、なるほど。第8世代監督の不思議な感覚はこんなもの？第8世代監督の問題意識に注目！

2023（令和5）年2月28日記

郊外の鳥たち

全国順次公開中



BEIJING YIN HANCEO PICTURES ENTERTAINMENT CO. LTD., QUAKER FILMS, GEORGE PICTURES, BEIJING YOSHINO FILMS CO., LTD., THREE BEIJING CHASE PICTURES CO., LTD., XIFRAME STUDIO, FLASH FORWARD ENTERTAINMENT / Realizy(film)

監督・脚本：チウ・ジョン
出演：メイソン・リー、ホアン・アン、ルー、ゴン、ズ、ズ、ハン、ドン、ジン
原題：郊外の鳥 / 英語：SUBURBAN BIRDS
日本語字幕翻訳：奥原智子
配給：リアリー・ライクアップ、フィルムズ・44・ピー・アクト、フロシエクト
2018年 / 中国
中国語 / スタンダード / 5.1ch /

「青い鳥」を連想するが、さて？
弁護士の中には中途半端なまま開発が放棄された「鬼城」が心配だが、本作の舞台は地盤沈下が進み、鬼城と化した地方都市。測量器を手に作業に従事する青年ハオはそこに、川を隔てて建設された開発区を目指しているの？

第5世代監督として80年代の中国映画を牽引した張藝謀の近時の活躍は目覚ましいが、80〜90年代生まれの第8世代監督の抬頭はそれ以上。『青い鳥』は静かに座っている。胡波は『野獣ノル』と『ロンダグレイス・シャーン』の準監督、『登江天廬』の監督がその代表だが、本作でハオも仲間入り！ 珍しく原題・英語・邦題が全く同じ『郊外の鳥』とは一体ナニ？ しあわせの青い鳥』と聞けば、第1作に坂田淳子が歌って73年のシコタ新人賞を獲った曲を、第2作に日産の名車アルマーティン』を、第3作にベルギーの作曲家M・メーテルリントの戯曲『青い鳥』を連想するが、さて？

第5世代を懐かしむのむい、第8世代の抬頭に注目！

最大の誉め言葉は、「アスタント・バイ・ミー」 meets カフカの「城」

70歳超の張藝謀とは、5世代と同じく第8世代の感覚も不可解だ。本作の誉め言葉は「アスタント・バイ・ミー」 meets カフカの『城』だが、それってナニ？ 前者は青春映画の金字塔とされた80年代映画で、死体探しの旅に出た4人の少年たちのひと夏の冒険を映したもの。有名なカフカの『城』を近年に映画化した後者は、農村の城に雇われた測量技師がいっつも城に入らず観望するだけ姿を垣見するだけ。本作はそれと同じく、ハオの物語と巨帳を覗いたことで回想可能な世界ならぬ物語が交互に進行していく。映画にリアルとサスペンスを期待する人には本作は全く向きな筈ならぬの物語は郊外の鳥で驚かされるだけ、河の面白さもないから。仇監督はなぜ地盤沈下という事件を物語全体の背景に据えたの？ 第8世代監督の不感嘆な感覚とは？ 年長者たちは彼の問題意識に必死で追いつきたい。

熱血弁護士
坂和章平

中国映画を語る (74)



(さかひら・しやうへい)
1949年東京都昭島市生まれ
れ、大阪大学法学部。邦画
関係に関わる機会が多く手
付け、日本橋市計画室「石
川誠」同年日本不審客捜査
「医療事件部」を卒業。昭和
絵画評論家(2004年)
「子」のオシロイ体験中

映画監督「し」しとほぼ同時期に「し」の映画監督(公
社)「日本映画協会」NPO法人「映画日本」の理事